2019年度 中間試験問題・解答

試験実施日 2019 年 7 月 3 日 2 時限

出題者記入欄

試 験 科 目 名 <u>応用数学 I-J</u>		出題者名佐藤弘康			
試 験 時 間 <u>60</u> 分	平常授業	美日<u>月</u>曜日<u>1</u>時限			
持ち込みについて 可	√(\ □)	可、不可のいずれかに○印をつけ 持ち込み可のものを○で囲んでください			
教科書 ・ 参考書 ・ ノート その他 ((手書きのみ	・ コピーも可) ・ 電卓 ・ 辞書)			
本紙以外に必要とする用紙 解答用紙 <u>0</u> 枚 計算用紙 <u>0</u> 枚					
通信欄					

受験者記入欄

学 科	学 年		学	籍	番	号		氏	名	
		1								

採点者記入欄

	31.7.11 H HZ; 11/13
採点欄	評価

極限 $\lim_{(x,y) o(0,0)}rac{x^2-y^2}{x^2+y^2}$ を求めなさい.【5 点】

次の関数 f(x,y) について、2次までの偏導関数をすべて 求めなさい.【各5点】

(1)
$$f(x,y) = x^3 - 2xy^2 + 3y^3$$

$$(2) f(x,y) = \sin(x+y)$$

以下は $2.02^4 \times 2.99^3$ の近似値を計算する方法について 述べた文である. 空欄に当てはまる最も適切な数または 式を解答欄に書きなさい. 【10点】

$$f(x,y) = \boxed{(1)}$$
 とおくと、

$$2.02^4 \times 2.99^3 = f(2 + \boxed{\ \ (2)\ \ \ }, 3 + \boxed{\ \ (3)\ \ \)}$$

である. z = f(x,y) の全微分は

$$dz = \boxed{(4)} dx + \boxed{(5)} dy$$

であり、これは独立変数 x,y の変化量がそれぞれ dx,dyのときの z の変化量を表している. x = 2, y = 3, dx =(2) |, dy = | (3) | とすると,

$$dz = \boxed{(6)}$$

となるので、次の近似値

$$2.02^4 \times 2.99^3 = \boxed{(7)} + \boxed{(6)}$$

が得られる.

(解答欄)

- (1) _____
 - (2)
- (3)
- (4) ____
- (5) _____ (6) ____
- (7)

(計算欄)

- 3 $x^2 + 2xy y^2 = -8$ の陰関数を y = f(x) とする. このとき、以下の間に答えなさい. 【10 点】
 - (1) f(x) の導関数 f'(x) を求めなさい.

(2) f'(a) = 0 を満たす x = a と, b = f(a) の組 (a,b) をすべて求めなさい.

(3) f'(a) = 0 を満たす x = a に対し, f''(a) の符号を調べ, b = f(a) が極大値か極小値か, またはそのどちらでもないか判定しなさい. ただし, F(x,y) = 0 の陰関数の 2 階導関数が

$$y'' = -\frac{F_{xx}(x,y) + 2F_{xy}(x,y)y' + F_{yy}(x,y)(y')^{2}}{F_{y}(x,y)}$$

となることを用いてよい.

| 4 | 関数

$$f(x,y) = x^2 - xy + y^2 + 2x - y + 1$$

の極値をすべて求めなさい. 【15点】